井上祐次郎（板橋区 / 整秀会田辺整形外科・さくら整形外科医院）運動継続サポートアプリ「くるあ」の開発

当施設では、地域医療の発展に向けた取り組みとして、ロコモサロンや市民公開セミナーを通じて啓蒙活動を40回以上に渡り行ってきました。これにより、地域の方々が健康な生活を送るための知識を得られるよう努めており、予防医療への理解を深めています。同時に運動の継続が課題となっている現状も認識しています。

そこで、私たちは運動継続のサポートを目的とした新しいアプリ「くるあ」の開発を行っています。このアプリは、患者が手軽に運動や活動量の報告ができ、同時に医療機関との連携が可能です。患者がアプリを開くだけで、医療機関に適切な情報が提供され、ロコモ度に基づいて個別に最適な運動が提案されます。AIの技術を駆使し、登録者の健康状態に合わせた運動メニューを提供することで、運動継続のサポートを行うことが可能になります。

なぜこのアプリが地域と医療を繋ぐ重要な要素となるのか。それは、地域の方々が健康に対する意識を高め、医療機関との連携を促進する役割を果たすからです。アプリを通じて報告されたデータは医療機関に提供され、医師は患者の運動状況を把握し、適切なアドバイスや治療を提供することが可能となります。これにより、地域社会と医療機関が密接に連携し、より効果的な予防医療の実現が期待されます。

また、アプリを通じた地域と医療の連携は、80種類以上の運動メニューから適切なものを選択し、個々のロコモの状態に合わせたカスタマイズが可能であるため、一層の効果が期待できます。これにより、地域住民が健康なライフスタイルを維持するための手助けとなり、医療機関がより精緻な医療提供を行うことができます。

このアプリが地域と医療を繋ぐ架け橋となり、健康なコミュニティの形成に寄与するものにしたいと考えています。皆さんと共に、より良い未来を築くために、地域と医療の一体化を進めていく覚悟です。どうぞ、ご期待ください。